

お客様の視点から行動する・発想する・製品を造る。

高熱製品の搬送は サンキテックにお任せください!



鍛造品やダイカスト製品など、 高熱加工された部品等の搬送はお任せください！

搬送物の状況や温度によって適正な搬送ベルトがあることはご存じですか？

私たちサンキテックは、これまでに数々の高熱ワーク対応のコンベヤーを手掛けてきました。

常温から 300℃位までは耐熱ベルトで対応できますが、これを超えると製作が急に難しくなります。

搬送物の質量、形状、キズ厳禁から搬送速度、冷すまでの時間、整列度など、搬送条件は千差万別です。

一つ一つがオンリーワンのコンベヤーを造って 20 年。蓄積された経験と数多くの NG により培われた技術力でご奉仕する私どもサンキテックに是非、ご相談ください！

搬送物の温度などによって、コンベヤーのベルトの仕様が変わります。

* ベルトの種類とワーク温度の目安

● 常温



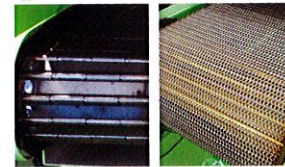
[樹脂ベルト]

● ~300℃



[耐熱ベルト]
テフロン・フェルト・アラミド繊維

● ~600℃



[高温対応] 鉄・ステンレス
ピンジ・スラット・ネット

● ~1000℃



[高熱対応] 鉄・ステンレス
※特別仕様

※搬送温度が 80℃位までは樹脂ベルトで対応できますが、300℃以上になると特別仕様のベルトとなり、チェーンやピロー、モーターに影響を及ぼさない工夫が必要となります。



ピンジベルト仕様

ダイカスト製品搬送ピンジコンベヤー



高熱な上にワークの重量があるので、ピンジベルトにハイテン材の補強をしました。北海道仕様のため、外気温を取り入れ(吸引)ワークを効率的に冷ましていきます。テール部に投入口を設け、コンベヤーを覆うことで、より吸引効果を高めました。

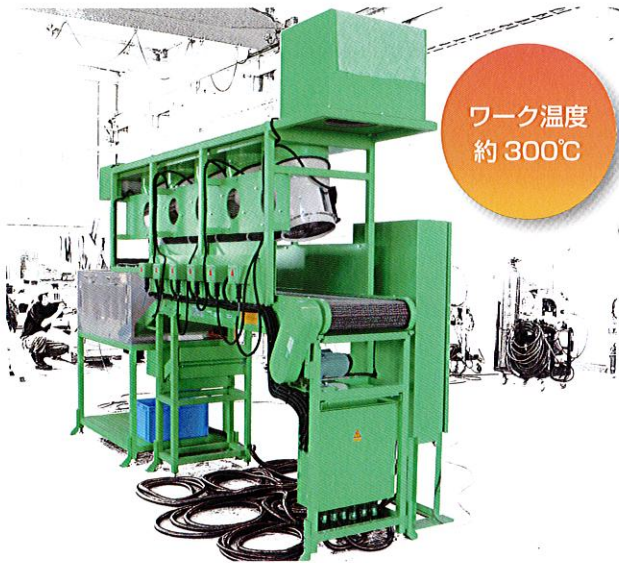


ピンジベルト (ハイテン材補強)

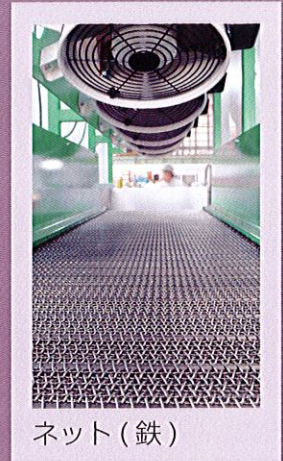
ワーク温度
約 250℃

🏆 ネット仕様

ダイカスト加工部品減熱用ネットコンベヤー



約 300℃の精密プレス部品を減熱します。また、インバータ付送風機を取り付けることにより、微妙な送風量の制御が可能です。更に送風機の上部にロールフィルターを取付けることで、粉じんやホコリを取り除きます。

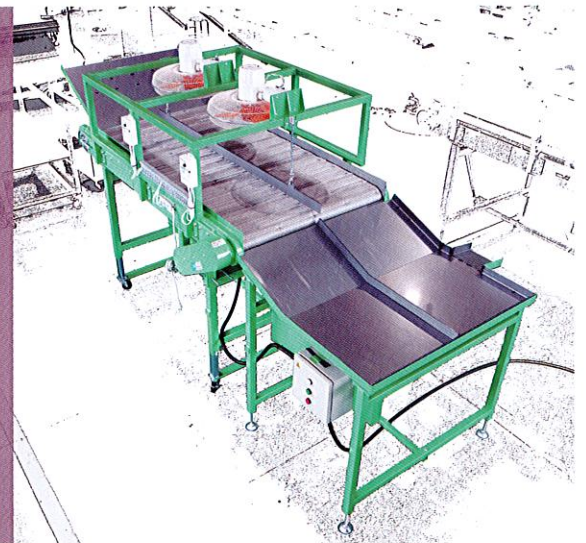


ダイカスト製品搬送密集ネットコンベヤー

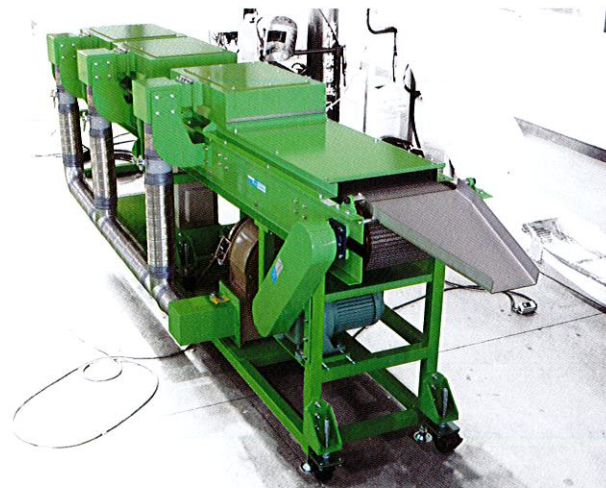
2 台のダイカストマシンからの製品を 1 台のネットコンベヤーで受けています。(分別ガイド吊り下げ式) また密集ネットを採用し、搬送面に使うネジをサラネジにすることで製品にキズが付くのを抑えています。



ワーク温度
約 250℃

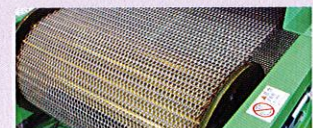


冷風装置付ネットコンベヤー



押し機より排出されるペレット (300℃) を減熱しながら搬送します。速度調整 (2m~10m/分) と送風キット (風量調整と粉塵対策) を装備しました。

ワーク温度
約 300℃



スラット仕様

扇風機付スラットコンベヤー（超高熱仕様）



 YouTube

このページに掲載の
処理ラインの動画は
下のQRコードから
確認することができます。



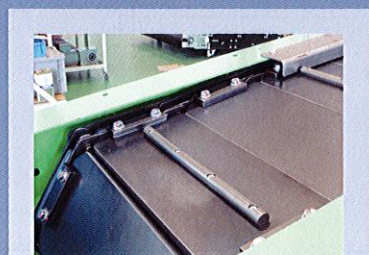
1100℃のワークを搬送するため、
12.0tのスラット板を採用。
コンベヤー内の両サイドチェーン上
に給油装置を設け、高温による油切
れを防ぎ、チェーンの耐久性を増し
ました。



スラット板（12.0t）

超高熱ワークの減熱装置付スラットコンベヤー

鍛造プレスから排出された銅製
品の搬送に使用します。
800℃の製品を搬送しながら減
熱するために、低速運転かつ強
力ブローア仕様としました。
また、高温な耐熱対応を考え
9mmのスラット板を装備しま
した。



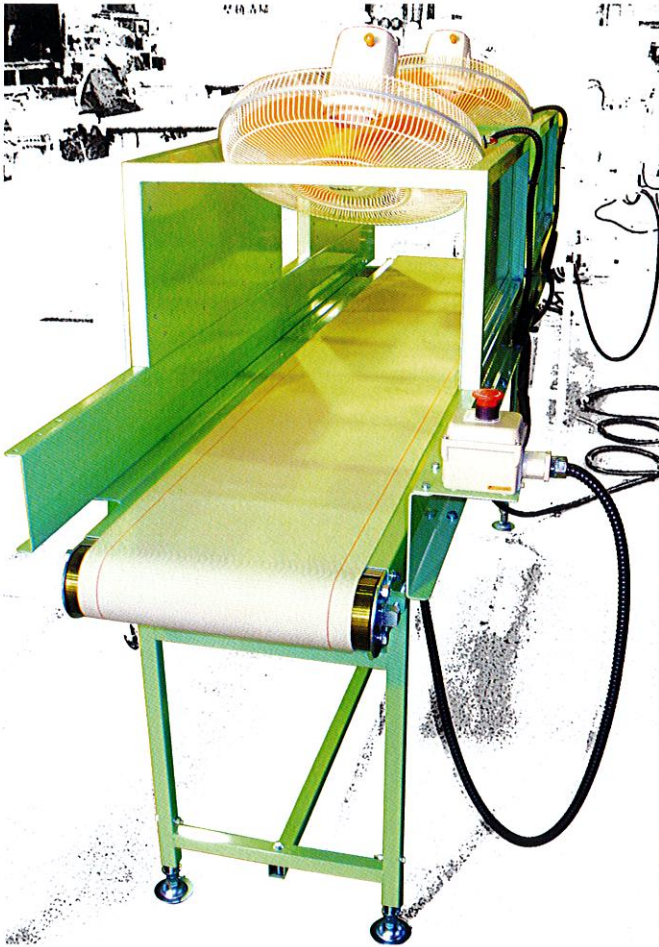
9mmのスラット板



ワーク温度
約 800℃

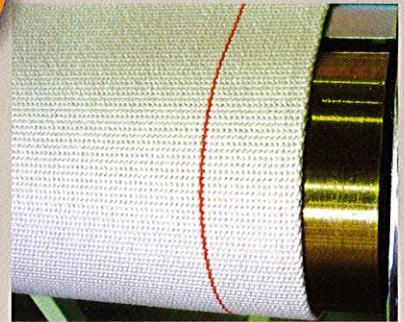
耐熱ベルト仕様

耐熱仕様プラムコンベヤー SPPB 型



高温でデリケートなワークの搬送なので、搬送時にキズ等が発生しないように考慮して通常の樹脂ベルトではなく 300℃耐熱対応の「アラミド繊維」を採用しました。
また、減熱用として扇風機を装着しました。搬送物はアルミダイカスト製品となります。

ベルト耐熱温度
約 300℃



アラミド繊維のベルト

アルミダイカスト搬送コンベヤー（耐熱ベルト）

高熱搬送の上、搬送物がキズ厳禁のため、フェルトベルトを採用しました。
搬送物はアルミダイカスト製品となります。

ベルト耐熱温度
約 400℃



フェルトベルト

